

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4- I -1

4- I -1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	県内主要箇所から佐渡までのアクセス方法の確認・整備
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	1 佐渡渡航アクセス方法情報提供	関連団体	佐渡市交通政策課、県観光協会、佐渡観光交流機構、佐渡汽船(株)
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内主要箇所から佐渡までのアクセス方法を確認し、分かりやすい情報提供を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な駅、高速道路等から佐渡汽船乗り場までのアクセス方法や運行状況、道路の渋滞、駐車場の混雑状況等について、インターネット等ICTの活用、観光案内所でのパンフレット配布などにより情報提供機能の強化を図る。 		
事業計画と実績	<p>【R2年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● R1で観光公式サイト「さど観光ナビ」内に整備した観光特集記事のアーカイブ機能を活用し、具体的な旅のイメージと共にアクセス方法を案内する。 ● 観光に係るweb広告の中で「さど観光ナビ」へのリンクを掲載し、サイト内への誘導を図る。 ● 新潟日報メディアシップ、新潟ネスパスなど県内外の施設にパンフレットを設置し、お客様が佐渡へのルートを知るタッチポイントを増やす。 <p>【R2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「さど観光ナビ」内に各メディアの記事をアーカイブする機能「さどじまん」を整備し、旅のイメージとアクセス方法を案内した。 ● web広告で「さど観光ナビ」への誘導リンクを掲載した。 ● 佐渡さんぽ2020版を60,000部作成し、県内外の施設に設置した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍で外出の機会が減っており、紙媒体で設置しても手に取る機会が減っている。逆にweb上での記事に関しては自粛中では見る機会も増えているので、そちらの充実が必要である。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ webでの記事アーカイブ等の充実を図る。 ■ デジタルパンフの周知と利便性の向上を図る。 		
事業評価	<p>【事業の達成度】 ◇◇概ね計画どおりに事業実施できているためBとした。</p> <p>〔 a・b・c 〕</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>〔 a (b) c 〕</p> <p>【総合評価】</p> <p>〔 A (B) C 〕</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。